

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベルについては【レベル5 厳戒警報】に引き上げます

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、12月14日（月）からのリスクレベルは【レベル5 厳戒警報】に引き上げます。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし感染者数
12月8日(火)～12月13日(日)	155名	35名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（12月9日発表）	今回（12月14日発表）
レベル4 特別警報 なお、感染状況は拡大傾向にある。	レベル5 厳戒警報 なお、感染状況は拡大傾向にある。

3 県民の皆様へのお願い

本県においては、新規感染者が先週から急増し、150人を超え、病床使用率の基準も満たしたことから、リスクレベルを緊急的に5（厳戒警報）へと引き上げます。

感染の態様は、熊本市中心部の接待を伴う飲食店に起因するものが中心であるため、接待を伴う飲食店への対策を強化します。また、今後の感染拡大に備え、引き続き医療提供体制の強化を進めて参ります。

本県では、12月18日までを集中期間とし、県民の皆様には感染防止対策の集中的な実践を要請しているところです。レベル5に至ったことも踏まえ、より一層強い意識を持ち、感染防止対策を徹底いただくようお願いします。

また、対策の詳細については、12月18日までに取りまとめ、発表を行うこととしています。

熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
（健康福祉部健康危機管理課）
問合せ先：波村、井上、中満
電話：096-333-2478
（内線）5931、5944、5933

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況【臨時版】

【令和2年（2020年）12月14日】

1 熊本県における現状認識

本県の12月8日から12月13日までの新規感染者は**155例**（うちリンク無し感染者は**35例**）、病床使用率が**30.8%**となったため、本日付けで**リスクレベルを「レベル5 厳戒警報」に引き上げる**。

県内の感染の態様については、熊本市が98例と最も多く、その中でも中心市街地に関連する感染者は約40例程度と多くを占め、新たにクラスターも確認されているため、歓楽街対策の強化が必要である。また、県内の各地で職場内、家庭内など様々な原因で感染を確認しているほか、リンク無し感染者数の増加も継続しており、更に感染が拡大する懸念が大きく、最大限の警戒が必要な状況である。

感染拡大による医療提供体制の逼迫に備え、病床数の拡充等についての要請を進めていく。なお、対策の詳細については、12月18日までに取りまとめ、発表する。

県民の皆様には、より一層強い意識を持ち、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

前回（12/9発表）	今回（12/14発表）
レベル4 特別警報 なお、感染状況は拡大傾向にある。	レベル5 厳戒警報 なお、感染状況は拡大傾向にある。

[熊本県リスクレベル基準]

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床使用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発/連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した6指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長臨時コメント (12月14日現在)

- 熊本県内では、12/8～12/13の間に新規感染者が155例（うち感染源が特定できないリンク無し感染者35例）が確認され、12/13日の病床使用率は30.8%であった。したがって、リスクレベルは「レベル5 厳戒警報」に引き上げることが妥当である。
- 感染の態様としては、熊本市における感染が98例と多く、その中でも中心市街地に関連する感染者は約40例と多くを占める。新たに接待を伴う飲食店においてクラスターも確認されており、歓楽街から医療機関や社会福祉施設への感染の波及を防ぐためにも、対策の強化が必要である
- また、県内の各地で感染が起こっており、リンク不明者の増加も継続している。冬季の温度や湿度の条件が感染を増加させることを示唆する知見も得られており、今後、更なる感染の拡大が懸念される。県市におかれては、受入れ病床数の増加要請や宿泊療養施設の追加など、感染拡大に備えた入院・療養体制の強化を急がれたい。
- 他県では、急激な感染拡大に伴い、条件を付した外出自粛要請や、飲食店の時間短縮営業要請など、社会経済活動へのブレーキをかけての感染防止対策を行う地域が増えてきている。熊本県においても、感染を効果的に抑え込むために、こうした強い措置の実施を検討する時期にあると考えられる。
- 県においては12月3日から18日までを集中取組期間とされているが、取組みの効果が明確になる前に、感染拡大の影響が強く出ている状況と考えられる。18日まで、しっかりと気を引き締めて取組を継続し、感染状況を見極めたうえで、効果的な対策を講じていただきたい。

3 県民の皆様へのお願い（12月13日発表）

熊本県のリスクレベルは【レベル5 厳戒警報】です。
また、感染状況は拡大傾向にあります。
つきましては、感染防止のため、次の対応を行います。

○日常の様々な場面で感染が見られています。県民の皆様お一人お一人が、より一層強い意識をもって、下記の対策を徹底することが重要です。
なお、12月18日までに、新たな対策を取りまとめ、発表します。

（1）最も重要なお願い

- ① 症状がなくとも、マスクを着用して下さい。
- ② こまめな手洗い・手指消毒を行ってください。
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談を！

（2）基本的な対策及び考え方

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・新型コロナウイルス検査を受ける時や感染者との濃厚接触疑い時などに、保健所から自宅待機を指示された場合は、指示を守っていただきますようお願いいたします。
- ・マスク着用、手洗い、人と人との距離の確保等の感染防止対策の徹底を要請します。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底して下さい。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。

（3）外出について

- ・「3つの密」のある場及び感染が流行している地域への移動は控えて下さい。
- ・発熱やかぜの症状がある場合は外出を控え、特に会食等に参加しないようにして下さい。
- ・高齢者、基礎疾患を有する方及びその御家族の方は、外出の際は感染防止対策を特に徹底することを要請します。

（4）飲食店等、営業施設の利用について

- ・ステッカーを掲示していないなど、感染防止対策が講じられていないホストクラブやキャバクラなどの接待を伴う飲食店は利用しないでください。
また、その他の飲食店等についても、感染防止対策が講じられていない場合は利用を控えて下さい。

●飲食店事業者の方には、下記のとおり要請していますので、適切な感染防止対策の実施に加え、ステッカー等の掲示をお願いします。

- ・「特定の飲食店」※においては、感染拡大予防ガイドラインや県が示すチェックリスト等による感染防止対策を徹底するとともに、それが県民に分かるよう、令和2年7月30日付けで通知したステッカー等を掲示することを要請します。

※...「バーやクラブ等の接待を伴う飲食店」及び「その他の酒類の提供を行う飲食店」
(令和2年7月17日付け内閣官房事務連絡)

感染が流行している県外への旅行・外出等について【12月14日発表】

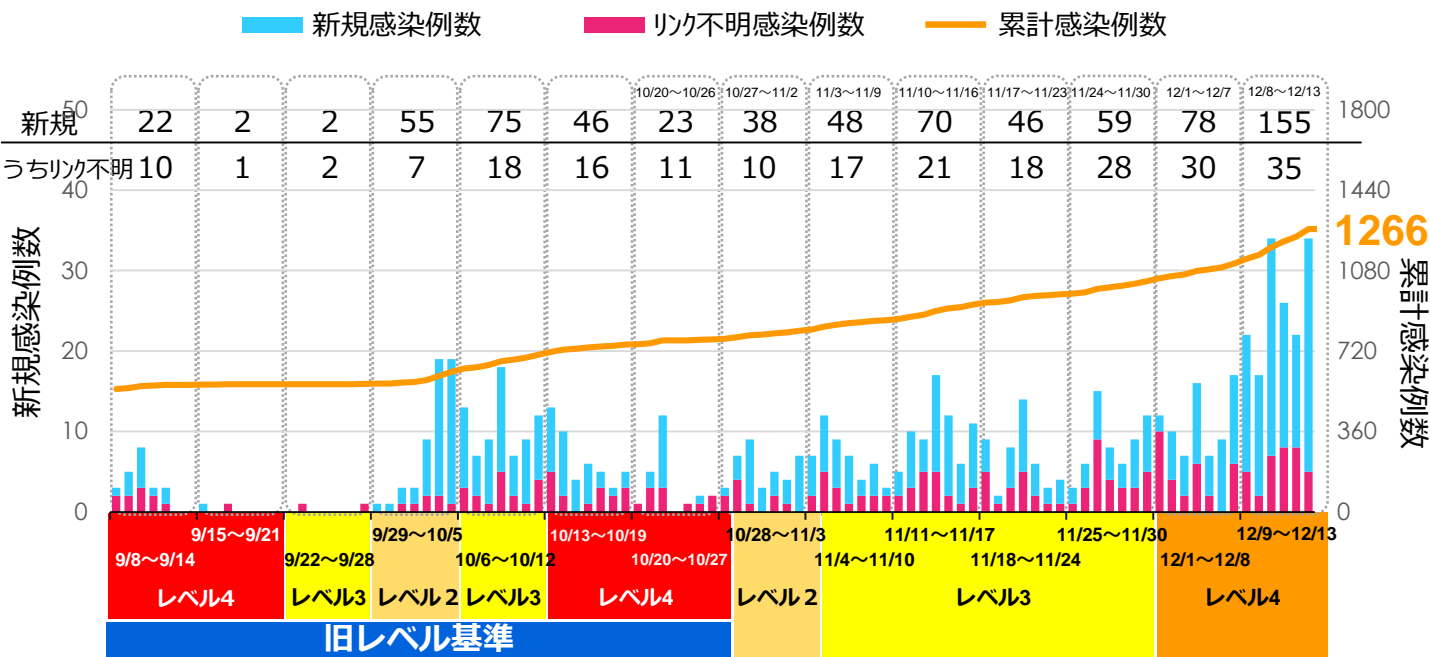
人口10万人当たりの週陽性者数が15人以上の都道府県への旅行・外出等は控えていただき、やむを得ない場合は感染防止対策を徹底し、三密を確実に避けるよう要請します。

発症率順	都道府県名	12/6～12/12の算定陽性者数	10万人当たり陽性者数
1	大阪府	2,424	27.5
2	北海道	1,313	25.0
3	東京都	3,368	24.2
4	愛知県	1,381	18.3
5	高知県	124	17.8
6	沖縄県	250	17.2
7	兵庫県	922	16.9
8	埼玉県	1,138	15.5
9	広島県	413	14.7
10	神奈川県	1,317	14.3
11	京都府	340	13.2
12	奈良県	174	13.1
13	群馬県	241	12.4
14	岐阜県	234	11.8
15	大分県	130	11.5
16	福岡県	574	11.2
17	千葉県	690	11.0
18	鹿児島県	159	9.9
19	熊本県	147	8.4
20	宮城県	190	8.2
21	山形県	82	7.6
22	長野県	155	7.6
23	山梨県	59	7.3
24	静岡県	260	7.1

発症率順	都道府県名	12/6～12/12の算定陽性者数	10万人当たり陽性者数
25	栃木県	128	6.6
26	和歌山県	61	6.6
27	岩手県	75	6.1
28	茨城県	165	5.8
29	三重県	102	5.7
30	佐賀県	42	5.2
31	香川県	40	4.2
32	福島県	71	3.8
33	青森県	47	3.8
34	宮崎県	39	3.6
35	石川県	40	3.5
36	滋賀県	43	3.0
37	岡山県	57	3.0
38	島根県	12	1.8
39	山口県	24	1.8
40	新潟県	36	1.6
41	福井県	10	1.3
42	長崎県	17	1.3
43	愛媛県	17	1.3
44	鳥取県	6	1.1
45	富山県	3	0.3
46	徳島県	2	0.3
47	秋田県	2	0.2
	合計	15,139	

※本県以外の陽性者数は厚生労働省が12月13日までに公表したデータから本県で算定・集計。
 (各自治体の時点公表数等と異なる場合あり)。
 人口は「人口推計(2019年(令和元年)10月1日現在)」(総務省統計局)を使用。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（9/8~12/13）：確定日ベース】



リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意

【保健所ごとの感染例の確認状況】

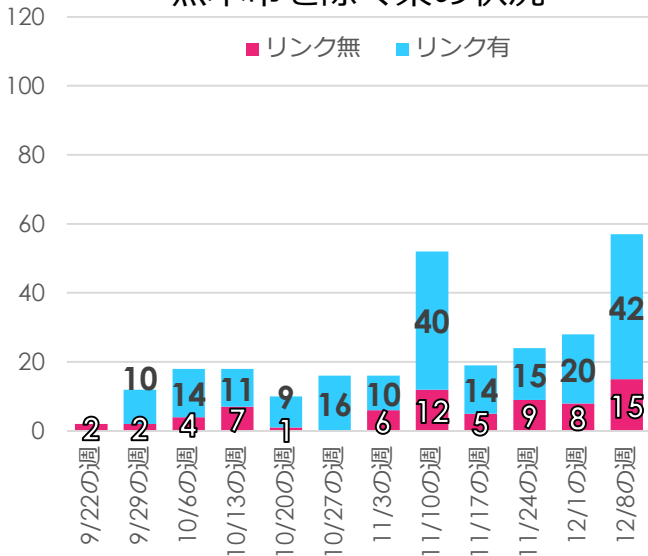
保健所名	これまで	先週 (12/8~12/13)	保健所名	これまで	先週 (12/8~12/13)
熊本市保健所	582	98	宇城保健所	30	4
有明保健所	225	3	八代保健所	34	17
山鹿保健所	55	4	水俣保健所	14	5
菊池保健所	73	18	人吉保健所	2	3
阿蘇保健所	52	2	天草保健所	11	1
御船保健所	33	0	計	1111	155

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の6指標】

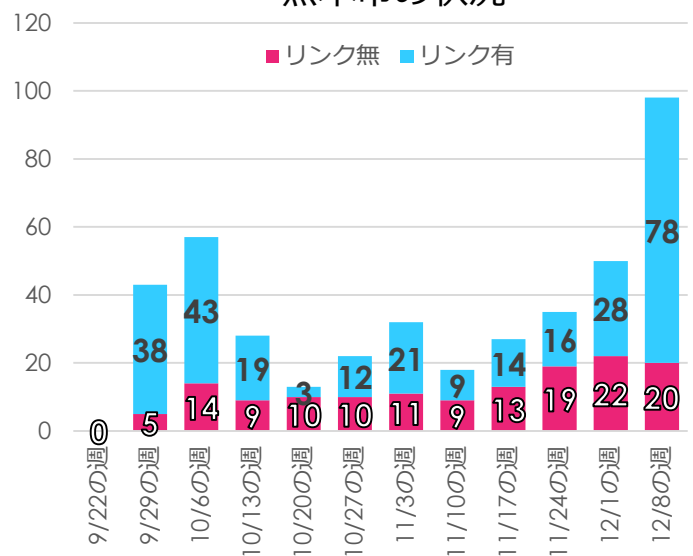
	医療提供等の負荷 (判断日の状況)		③ PCR 陽性率※ (一週間平均値)	感染の状況 (直近1週間の状況)			
	① 病床のひっ迫具合			④ 直近1週間 の陽性者数 (熊本県人口で換算)	⑤ 前週との 比較	⑥ 感染経路 不明割合	
	病床全体	うち重症者 用					
ステージ4	50%	50%	437人	10%	437人	先週より増	50%
ステージ3	25%	25%	262人	10%	262人	先週より増	50%
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階						
ステージ1	感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階						
12月13日	30.8%	13.6%	178人	10.4%	155人	+77	35人 (22.6%)
12月7日	18.3%	11.9%	104人	8.0%	78人	+19	30人 (38.5%)
11月30日	16.8%	10.2%	81人	4.9%	59人	+13	28人 (47.5%)
11月23日	18.3%	3.4%	85人	5.7%	46人	▲24	18人 (39.1%)
11月16日	17.0%	5.1%	85人	5.7%	70人	+22	21人 (30.0%)

リンク無し陽性者の確認状況

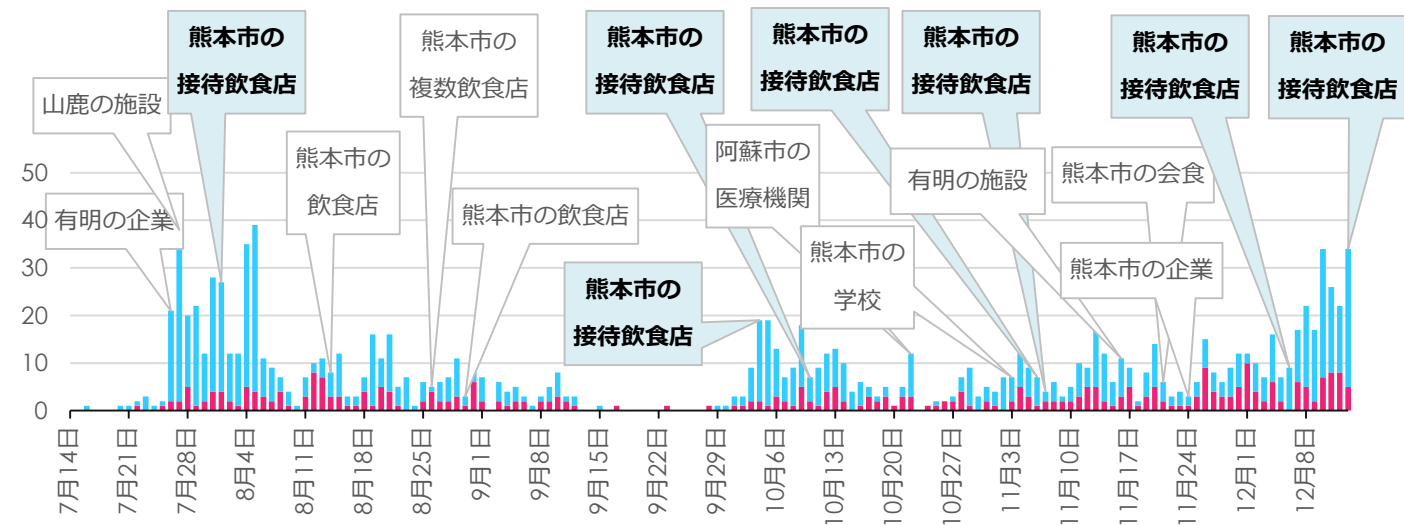
熊本市を除く県の状況



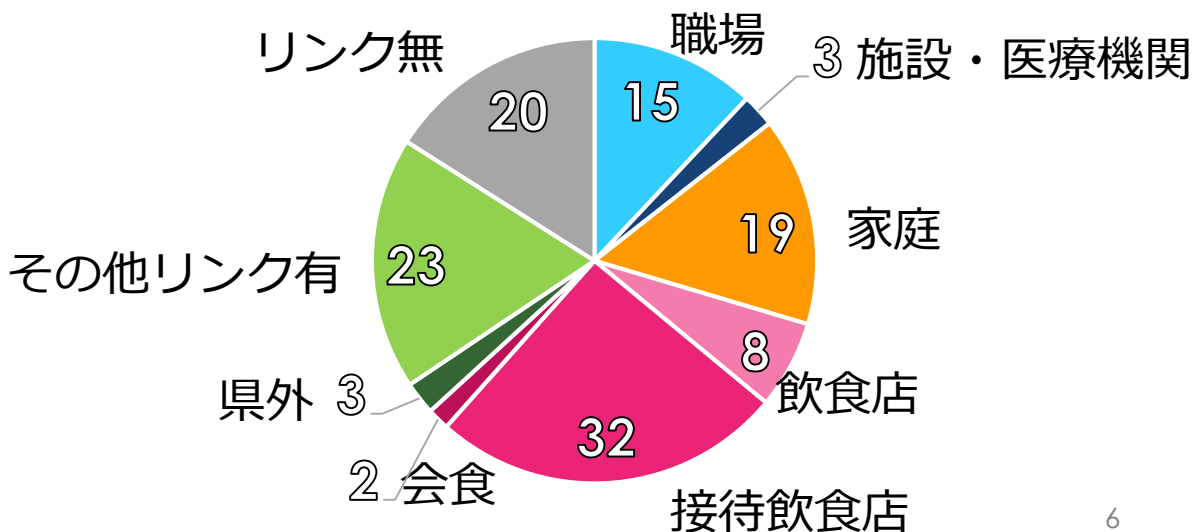
熊本市の状況



県内のクラスターの発生状況



直近の感染の場面 (12/8~12/13)



国の6つの指標によるステージ分類と県のリスクレベル

【国ステージ分類指標】

	医療提供等の負荷 (判断日の状況)		監視体制	感染の状況 (直近1週間の状況)			
	①病床のひっ迫具合		③PCR 陽性率 (一週間平均値)	④直近1週間の 陽性者数 (熊本県人口で換算)	⑤前週との 比較	⑥感染経路 不明割合	
	病床全体	うち重症者用					
ステージ4	50%	50%	437人 (25人/人口10万人)	10%	437人 (25人/人口10万人)	先週より増	50%
ステージ3	25%	25%	262人 (15人/人口10万人)	10%	262人 (15人/人口10万人)	先週より増	50%

12月13日の 本県の状況	30.8%	13.6%	178人	10.4%	155人	+77	22.6%
------------------	-------	-------	------	-------	------	-----	-------

【県リスクレベル基準】

リスク レベル	県の判断基準
レベル5 厳戒警報	①新規感染者 150名以上 かつ ②病床使用率 25%以上 等
レベル4 特別警報	①新規感染者 50名以上 かつ ②リンク無し感染者 25名以上
レベル3 警報	①新規感染者 30名以上 又は ②リンク無し感染者 15名以上
レベル2 警戒	①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない

新型コロナウイルス感染症「リスクレベル5 厳戒警報」における緊急対策

対策の基本方針

- I 有症状者や感染が疑われる者に対する診療や検査を、積極的かつ迅速に実施できる体制を整備。
- II クラスターの未然防止や早期収束に対応できる体制を整備。
- III ハイリスク者の入院等に確実に対応できる万全な医療提供体制を整備。

県内の感染状況

12月8日から13日までの6日間の状況
新規感染者数：155名、病床使用率：30.8%



感染者数及び病床使用率が増加し、リスクレベル5の水準に到達

国のステージⅢには該当しないが、感染拡大の主な原因に対する対策の強化が必要。

- 熊本市中心部の接待を伴う飲食店において、多数の感染者が確認されている。
- また、病床使用率も急増している。

緊急対策の方向性

- 接待を伴う飲食店における感染拡大防止対策を強化。
- 高齢者や基礎疾患を有する方などに、確実に入院していただくための体制の強化。

県民への要請について

「飲食店等、営業施設の利用」に関する要請を以下のとおり強化。

レベル4

感染防止対策のできていない店舗については、利用を控えて下さい。

レベル5

感染防止対策が講じられていないホストクラブやキャバクラなどの接待を伴う飲食店は利用しないでください。

また、その他の飲食店等についても、感染防止対策が講じられていない場合は利用を控えて下さい。

医療提供体制について

入院・療養体制を以下のとおり強化。

12/13時点の
病床使用状況

県全体の病床使用率：30.8%
うち、熊本市内の病床使用率：76.0%

入院体制

- ・高齢者や基礎疾患を有する方などの入院に万全に対応するため、県調整本部による県内全域での広域入院調整を確実に実施。
- ・現在確保している入院病床400床について、全ての病床をすぐに患者を受け入れることができる「即応病床」へ近日中に移行するよう医療機関へ要請（現在の即応病床は260床）。
- ・併せて、入院病床400床の更なる増加に向け、医療機関と調整。

療養体制

- ・軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の2棟目について、本日、借上契約を締結。
- ・近日中の稼働に向け、早急に体制を整備。

1棟目：約60名＋2棟目：約80名
＝合計：約140名の受入れが可能

更なる対策については、全国や県内の感染状況等を踏まえ、12月18日に発表予定